

神のエコノミーの実際の中で生きる人		
MSG1	神のエコノミーの中心は	神が人に与えた霊です
MSG2	神のエコノミーの源は	神の永遠の定められた御旨です
MSG3	神のエコノミーの模範は	恵みの中で力づけられ忠信な人となることです
MSG4	神のエコノミーの内容は	キリストのパーソンと働きです
MSG5— MSG8	神のエコノミーの中を生きる人が持つべき訓練	
	キリストのからだとしての召会を有機的に建造するために、 (M5)神の言葉を呼吸し、装備された神の人となり (M6)尊いことに持ちいられる器と成り主を呼び求め、主を追い求め (M7)命の恵みの健康な言葉を語り、 (M8)わたしたちの務めを十分に果たす ことの上で訓練される	

神の言葉を神の息として吸い込み吐き出すことによって、十分に装備された神の人となる				
I 息	神の息を持つ 神の人	A	第一の息	神が吹き込まれた命の息は、人の霊となりました
		B	第二の息	主が彼らに吹き込まれた息は、「聖なるニューマ」です
		C	第三の息	聖書はすべて、神の息吹き出したのです
		D	訓練/ 活用	神の息を持つ十分に装備された神の人となるため、わたしたちの霊を訓練(活用)し、その霊を受け、神の言葉を吸い込む必要があります
II 言葉	神の言葉を持つ 十分に装備された神の人	A	性質	聖書は神の息であり、この息は霊です
		B	益	教え、戒め、矯正、義の中の訓練において益がある
		C	結果	神の人が十分に装備されて、完全な者になる
III 霊	その霊の剣で 神の内敵をほふり 団体的な神・人へと構成される	A-B	啓示	神の言葉をその霊の剣として受け取って神の内敵をほふる
		C-D	適用	すべての祈りによって神の言葉を受けとり、自己を殺す
		E-G	結果	勝利者は神の言葉としてのその霊で完全に構成された団体的な神の人(神・人)となり、殺す剣としての神の息をもって神の敵を滅ぼし、神の子たちの出現となります—

#### メッセージ 5

### 神の言葉を神の息として吸い込み吐き出すことによって、十分に装備された神の人となる

聖書：Ⅱテモテ 3:14-17

神の目的は、団体的な神・人である、**神の息を持つ神の人**を得ることで

- I. 神の究極の意図は、一人の団体の神・人を得て、神の団体の現れとすることです。神が願うのは良い人ではなく、神・人、すなわち神の息を持つ神の人です——ヨハネ 1:1, 14. Iテモテ 3:15-16. Ⅱテモテ 3:16-17:

**神の息を持つ神の人となる(三つの息)一人の霊、聖なるニューマ、神の言葉**

\*神は人を造り、命の息を人の中へと息吹き込みました。その息は人の霊となりました。

A. 「エホバ・神は土のちりで人を形づくり、その鼻の中に命の息を吹き込まれた。すると人は生きた魂となった」——創 2:7:

1. 人の体の中に吹き込まれた命の息は、人の霊となりました——箴 20:27. ヨブ 32:8.
2. 人の体の中に吹き込まれた命の息は、神の永遠の命ではなく、神の霊でもありませんでした。しかし人の霊は神の命の息から出て来たので、神の霊にとっても近いのです——参照、創 2:7-9.
3. ですから、霊なる神と人の霊との間は伝達が可能であり、人の霊は神と接触することができます、神と一になることができます——ローマ 8:16. Iコリント 6:17.

\*主は復活の中で弟子たち聖霊を吹き込まれました。

B. 「彼は……彼らの中に息を吹き込んで言われた、『聖なるニューマを受けよ』」——ヨハネ 20:22 (文字どおりには) :

1. 聖なるニューマは聖霊、あるいは聖なる息です。
2. ヨハネによる福音書には、三つのすばらしい言葉があります。それは「言」、「肉体」、「息」です。言は神であり、肉体は人であり、息はその霊です——1:1, 14, 20:22。
3. 言は肉体と成って法理的な贖いを完成し、次に復活して聖なる息と成り、わたしたちに内住し、わたしたちに供給して、有機的な救いを得させます——ヨハネ 1:14, 29. I コリント 15:45 後半. ローマ 5:10. 10:12-13. 参照、哀 3:55-56。

**\*聖書、神の言葉は、神の息吹き出したものです。**

C. 「聖書はすべて、神の息吹かれたものであり」——II テモテ 3:16 前半 :

1. 聖書、神の言葉は神の息吹き出したものです。
2. 神の語りかけは神の息吹き出したものです。ですから、神の言葉は霊、あるいは息です——ヨハネ 6:63。

**\*ですから、わたしたちは霊を訓練(活用)し、神の言葉を吸い込む必要があります**

D. これらすべてが啓示しているのは、神の息を持つ十分に装備された神の人となるためには、わたしたちの霊を訓練(活用)し、絶えずその霊を受け、神の言葉を吸い込む必要があるということです——I テモテ 4:7. ガラテヤ 3:2. エペソ 6:17-18 前半。

**聖書は神の息吹きであり、神の人に神の息を吸い込ませ、命を得させ、十分に装備されて、完全な者にします**

II. 神の息吹かれた聖書は、人を教え、戒め、矯正し、義の中で訓練するのに益があります。それは、神の人があらゆる良いわざのために十分に装備されて、完全な者になるためです——II テモテ 3:14-17 :

**\*聖書は人に命を得させます:聖書は神の息であり、この息は霊であり、霊は命を与えます**

A. 聖書は神の息であり、この息は霊であり、霊は命を与えます——ヨハネ 6:63 :

1. わたしたちが聖書を読むことは、神を吸い込んで命を受けることであるべきです。わたしたちが聖書を教えることは、神を吐き出して命を分け与えることであるべきです——使徒 6:4。
2. 十分に装備された神の人は、霊の中ですべての祈りと願い求めによって聖書を読んで神を吸い込み、言葉をその霊として供給して神を人の中へと吐き出します——エペソ 6:17-18 前半. 使徒 6:10. II コリント 3:6。

**\*聖書はわたしたちに神の息を受けさせ、四つの事で益を得させます**

——教え、戒め、矯正、義の中の訓練において益がある

B. 神の側で、聖書は神の息吹です。わたしたちの側で、聖書はわたしたちが神の息を受けて、四つの事で益を得ることで、それは教え、戒め、矯正、義の中の訓練です :

1. 教えは、啓示に等しいのです。教えることはおおいを取り去って、人に三一の神と彼のエコノミーに関することを見せることです——エペソ 1:17. 3:9。
2. 戒めは、わたしたちが見た啓示から来ます。わたしたちは神の何かを見るときはいつも、自分の失敗、過ち、欠点、罪を認識し、その結果、戒められ責められます。わたしたちは神を見て、神を知り、神を愛するようになればなるほど、ますます自分を忌み嫌い、自己を否むようになります——参照、イザヤ 6:1-8. ヨブ 42:5-6. マタイ 16:24。
3. 矯正は、戒めに続き、間違っているものを正しくし、人を正しい道へ戻し、真つすぐな状態に回復することです——参照、マタイ 7:13-14. ヤコブ 5:19-20。
4. 義の中の訓練は、神聖な教えを受けて、わたしたちの生かし出された義としてのキリストを享受し、神聖な取り扱いを受けて、神と人に対して正しくなることです——ピリピ 3:9。

**\*結果、神の人があらゆる良いわざのために十分に装備されて、完全な者になる**

C. 神が聖書の教え、戒め、矯正、義の中の訓練を通してご自身を息吹き出した結果は、

神の人があらゆる良いわざのために十分に装備されて、完全な者になることです——  
Ⅱテモテ 3:17 :

1. 神の人は神・人であり、神の命と性質にあずかり（ヨハネ 1:12-13. Ⅱペテロ 1:4）、  
こうして神の命と性質において神と一となり（Ⅰコリント 6:17）、それによって神  
を表現する人です。
2. 神の息吹は神・人を生み出します。わたしたちは祈りをもって聖書を読むことによ  
って絶えず三一の神を吸い込んで、啓示、戒め、矯正、義の中の訓練を受ける必要  
があります。

**わたしたちは神の息を吸い込み、神で構成される必要があります。また、その霊としての神の言  
葉を受け取り、サタンを滅ぼす団体的な神人となります。**

Ⅲ. 神の言葉を神の息として受け取って神で構成されることは、神の言葉をその霊の剣とし  
て受け取って神の内敵をほふることでもあります——エペソ 6:17-18 前半 :

#### A-B 啓示

**\* 恒常的な言葉(ロゴス)を祈り読みし、その霊の即時的な言葉(レーマ)とならせる必要がありま  
す；言葉は剣としてのその霊を通して、わたしたちの内の内敵を殺します。**

- A. サタンはわたしたちの外側の敵であるだけでなく、わたしたちの内側の内敵でもあり  
ます。この内側の内敵を対処するために、わたしたちは言葉の殺す力を経験し、聖書  
の恒常的な言葉を祈り、それをその霊の即時的な言葉とならせる必要があります——  
ヨハネ 6:63. エペソ 5:26. 啓 2:7.

**\* なぜなら、剣、その霊、言葉は一だからです。**

- B. 剣、その霊、言葉は一です。聖書の恒常的な言葉が即時的な言葉（その霊があらゆる  
状況の中で、その時に語る適用された言葉）となるとき、その言葉は剣としてのその  
霊であり、内敵を殺します——ヘブル 4:12.

#### C-D 適用

**\* からだの敵である自己が死に渡される必要があります、**

- C. わたしたちが霊の中ですべての祈りによって、神の言葉を受け取れば受け取るほど、  
わたしたちの中の消極的な要素はますますほふられます。最後には、最も害を与える  
敵、すなわちからだの敵である自己が死に渡されます——参照、啓 1:16. 2:16.

**\* ですから、いつも、霊を訓練(活用)し、霊の中で祈りによって神の言葉を受け取らなければ  
なりません。**

- D. わたしたちが自分の内側の消極的なものによって悩まされるときはいつも、霊の中で  
すべての祈りによって神の言葉を受け取るべきです。わたしたちの中の消極的なもの  
が祈り読みを通して殺されるとき、主は勝利を得ます。

#### E-G 結果

**\* 言葉をその霊として受け取ることによって守られ、健康な召会生活をすることができます。**

- E. わたしたちは言葉をその霊として受け取ることによって、召会生活と務めの中で守ら  
れます。この言葉は殺す剣、すなわち霊的な抗生物質となって、わたしたちの内側の  
「病原菌」を殺し、わたしたちが健康なからだの生活、健康な召会生活をするこ  
とができるようになります。

**\* 勝利者は主の言葉を守り、恒常的な言葉(ロゴス)において即時的な言葉(レーマ)である主に接  
触し、**

- F. 勝利者は主の言葉を守り、常に主に来て、書かれた言葉の中で生ける言葉としての主  
と接触します。それによって、主は彼らの中で、分与する霊としての適用された言葉  
となることができます——啓 3:8. ヨハネ 1:1. 5:39-40. 6:63.

**\* そして構成され、キリストの花嫁また新しい人、すなわち団体的な神の人となり神の敵を滅ぼし  
神の定められた御旨を完成します。**

- G. 勝利者は神の言葉としてのその霊で完全に構成されて、キリストの花嫁また新しい人、  
すなわち団体的な神の人となり、殺す剣としての神の息をもって神の敵を滅ぼし、神  
の子たちの出現となります——啓 2:7. 22:17 前半. 19:13-15. Ⅱテサロニケ 2:8.